



三鷹がふるさとに…。住んでよかったです!と思ったらもうそこは「ふるさと」ですね。私たちは父娘二代で三鷹の阿波踊り「みたか連」でお世話になりました。娘家族はお盆ではなく、この夏まつりに帰郷して友だちに逢い、三鷹の夏を楽しんでいます。例えば、三鷹独自の催事があれば、三鷹でふれあう外国の方々の「ふるさと」にもなれる。これからも、家族や仲間、外国の方ともふれあう。こんな光景にたくさん出逢える三鷹夏まつりでありたいと思います。商店街でにぎわい創造に携わる大勢の関係の皆さんに感謝。



協同組合三鷹中央通り商店会
理事長

井口 文浩

みんなの笑顔が成長して、三鷹の街が元気になっていく



検証!みたかラブ・ストーリー

笑顔のそばにいつもいる。そうさ、ぼくらは三鷹愛に支えられてきた。この愛は、ぼくらの未来をきっと応援してくれるメッセージ(ラブレター)なんだ。

去年の夏、子どもたちと留学生と一緒に絵本を楽しみました。子どもたちにとって、留学生は遠い国の人ではなく、近所に住むお兄さんお姉さん。留学生にとって子どもたちは絵本の読み聞かせに率直に反応してくれる小さな友達。

Let's go beyond borders and have fun, together! 自分の知らない世界に「人」を通して「出会う」という瞬間。そんな素敵な瞬間を大切に。

Glocal みたか (みたか地域・国際連携研究会)
Glocal みたか代表

鳴田 レイナ

既存のカタチにこだわることなく、みたか連独自の表現する楽しさを通じて人を街を元気にしたい。2017年夏、みたか連有志によるトライ「流星演舞」。光を纏った踊り手たちが流れ星のように美しく舞い踊ります。お楽しみください。

三鷹阿波踊り みたか連長

天野 龍

だんだん空が狭くなるね。都会で子どもたちが、青空の下で自由に遊べる祭りは少ない。子どもたちのために、今日の三鷹の空の写真を記録して欲しいね。

あるご夫人 からの伝言

オッス!また夏が来た!元気が!岡崎君ちの朝採れの美味しさを、そのまま箱詰めにした、とうもろこしをそのまま焼き上げるから、乞うご期待!**三鷹の子どもたち諸君の笑顔に会いたい!「旨い!」の声が聞きたい!元氣のお裾わけ…愛を込めて矢吹から、LOVE! LOVE! LOVE!**

矢吹町役場 産業振興課
まちPR係長

柏村 秀一

失敗しても、失敗しても、くじけずにトライする。「出来た!」笑顔クシャクシャの子供たちを見ると胸がキュンとする。この瞬間がシニア世代にはたまらない。「けん玉」「皿まわし」昔遊びには世代を超えたなにかがある。**こころのコミュニケーションだ。**元氣な笑顔を見るたびに、また一年長生きできそうです。

シニアSOHO 普及サロン・三鷹 村田 重章

2016.4.24 熊本・大分地震災害チャリティバザーを開催。義援品は、立川、中野からも。三鷹を愛する人々のネットワークは広いと感じました。大変でしたが、やればできちゃった、とはある商店主婦人。お店の女性たちが、都合のいい時間にそれぞれが販売を担当。鞆屋さんは鞆の、洋品屋さんは服の、子どもグッズは経験を生かして値付けを受け持ちました。**未来を応援することは、未来を支えていただくこと。**多くの皆さまのご協力に感謝。また、いつかやりますよ。

三鷹中央通り商店会 婦人部一同

子ども駅長制服を着たお子さまの笑顔、そして、ご一緒のお父様お母様の笑顔。対応する社員の笑顔。

「笑顔をつなぐ」夏まつりに感謝。

JR東日本三鷹駅 駅長

平井 淳

2016年は、花子がくれた思い出をスイカのレリーフにして飾りました。今年のレリーフは、お楽しみ。今年も、三鷹の日本一の愛を観て、味わってください。これからどこかで、スイカをいただくとき。**三鷹の楽しい思い出があなたの勇気になることを。**—富士フルーツ

田中 真紀子

スーパーボールが足りない!八王子まで買いに走れ!超特急だぞ!痛い指を慰めながら、ひとつひとつ膨らますヨーヨー。**子供たちの元気に負けるな!**元気に泳げ!ドキドキしながら大切に見守った金魚たち。悪戦苦闘の2日間。終わってみると、百円玉を握りしめ、目をキラキラさせてやってきた子供たちの顔が浮かんでくる。**親父たちから受け継いだ「元氣な夏」が、自分の子供たちへつながって…その次の子供たちへ…そして次へ…次へと元氣につながって行くと凄いな、うれしいな、と思います。**



商店会1班、5班
子ども応援団代表

中津川 治彦
相賀 誠
広瀬 充弘

浴衣ウエルカム記念撮影キーホルダープレゼント。今年で12年目。お子さまの成長の記録として毎年参加されている方も多く、密かに喜んでいます。これからも、たくさんの方の思い出作りになればうれしいです。**キーホルダーを作った子が親になり、自分の子どもと笑顔のツーショット。**こんなことが実現したら素敵だな…

ふるさと三鷹ふれあい夏まつり応援団

榎本タイキ&皆川 梢

6月に商店会に加盟させて頂きました。当店は多種多様の古着を取り扱っています。幅広い世代のお客様に愛されるお店を目指して精進してまいります。また、商店会・地域の皆さまと一緒に楽しい商店街を作りあげていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

Don Don Down on Wednesday
三鷹駅南口店店長

澤田 剛

いらっしゃい!夏まつり with you 商店街。街に街路灯のあかりが灯るころ、あの日あの時代(とき)を誰にでも心の片隅より懐かしさを追想(おもい)かえされることでしょうか。さあ今年の夏も思い出づくりを。三鷹の夏まつりへいらっしゃい!!まだまだあの店この店あの人の人、三鷹愛お届けします!

協同組合三鷹中央通り商店会
プラチナ会

岡田 英雄

Love Letter to you.

会場の準備、後片づけ、交通整理などの運営を担当し、「ふるさと三鷹ふれあい夏まつり」をかげで支える子どもたちがいます。NPO 法人三鷹次世代育成応援団の子どもたちです。彼らは、三鷹の街のいろいろな人と知り合って、いろいろな話をして、いろいろなことに参加して、**自分が三鷹のコミュニティに出来ることは何かを探したい。それが自分の成長の柱になるはずだ、**と考えています。この夏まつりの体験をはじめ様々な三鷹コミュニティとのつながりを積み重ねて、**未来の三鷹を支えるチカラ**になってくれればうれしい、いや必ずなるはずだ!と期待しています。



NPO 法人
三鷹次世代育成応援団
塩多 幸江

みんなが自分らしい生き方に挑戦でき、夢を叶える街でありたい。未来へ続く三鷹を創造できたらうれしい。



夜20時まで賑わう三鷹中央通り



開会式の打ち水に参加した
ICU留学生の皆さん

今年、三鷹中央通り商店街の夏まつりが35回目を迎えました。ひとくちに35年と言っても、その苦労は大変なものであったと思います。でも、本当は、苦労ではなかった。そのことをボク達は知っています。ボク達が子ども時代の記憶ですが…親父達は祭りという理由をつけて遊んでいたのです。金魚すくい、焼きそば、…奇想天外な子豚とドジョウのレース等も…すべて自分たちで工夫しながらやっていた。その先には子どもたちの笑顔があったのです。子どもを相手に子どもになって、ふれあう…楽しかったのです。この思いが「三鷹ふれあい夏まつり」という名前になり、祭りの原点になりました。ボク達は、数年前から親父世代から受け継いで夏まつりを運営しています。**大人も子どもも夢中で遊ぶ。**この伝統は変わりません。でも、**まつりの名前に「ふるさと」という四文字を加えました。「ふるさと三鷹ふれあい夏まつり」になりました。**三鷹で生まれた人、昔、住んだことがある人、地方から引っ越してきた人等々、理由はいろいろでも三鷹好きが集まって「遊ぼうよ!遊ぼうぜ!まだまだ遊び足りないナ!」と楽しむ二日間です。そして、今、ボク達が思うことは「ふれあい」「ふるさと」この言葉に託した思いが未来へ繋がって行くことです。頼むぞ息子世代、孫世代…

地域と共に生きる商店街をめざして
協同組合 三鷹中央通り商店会

夏まつり
実行委員長

竹田 哲郎

事務局

広瀬 充弘